令和7年度 第7回 湯梨浜町農業委員会定例総会議事録

開催年月日	令和7年10月10日(金)午後2時30分			
開催場所	湯梨浜町役場別館 第3会議室			
	1番 土海 政信 委員	2番 下田 健一 委員	3番 尾川 寛信 委員	4番 山田 隆雄 委員
出席委員(10名)	5番 長谷川 誠一 委員	6番 山下 和子 委員	7番 渡邉 由佳 委員	8番 清水 武敏 委員
	9番 横川 力 委員		11番 蔵本 孝広 委員	
欠席委員(2名)	10番 中村 弘明 委員	12番 山上 真治 委員		
八川安貝(2 17)				
出席推進委員(3名)				
山州推延安貞(5 石)	17番 伊藤 文夫 推進委員	18番 岡本 章 推進委員		20番 倉本 哲男 推進委員
欠席推進委員(5名)	13番 赤井 保 推進委員	14番 河井 勝重 推進委員	15番 松本 勝男 推進委員	16番 山本 正義 推進委員
入席在进安貝(3名)	19番 音田 孝好 推進委員			
職 務 の た め 出 席 し た 職 員	事務局長 吉野 和男副主幹 中村 武史			
提案議案	第 21 号議案 農地法第 3 条の規定による許可申請について 第 22 号議案 農地法第 5 条の規定による許可申請について 第 23 号議案 非農地の現況証明について 第 24 号議案 農用地利用集積等促進計画の策定について 第 25 号議案 非農地の決定について			
報 告 事 項	なし			

日 程	発 言 者	発	言	Ø	要	口田
1 開会	事務局	それでは定刻となりました	ので、ただ台	から令和7年	度第7回農業	委員会定例総会を開会しま
		す。				
		はじめに、農業委員会憲章	この唱和を行い	ハますので、皆	様ご起立をお	願いします。
		本日の先導役は、議席番号	・9番の横川	力委員です。	よろしくお願	いします。
農業委員会憲章 唱和	横川委員	(農業委員会憲章の唱和)				
	事務局	ありがとうございます。こ	着席ください	, \ ₀		
		それでは開会にあたりまし	て、長谷川会	会長からごあい	さつをいただ	きます。
	長谷川会長	(長谷川会長あいさつ 中略	()			
	事務局	ありがとうございました。	それでは、ス	本日の出席者報	告をします。	
		農業委員の現員数 12 人に				
		法律第27条第3項の規定に	基づき、出席	f者が定足数に	達しておりまっ	すので本総会が成立するこ
		とを報告します。				
		次に会議の議長ですが、湯				の規定により、会長が議長
		となります。それでは、長名				
2 議事録署名委員の指名	長谷川会長(議長)	本日の会議の日程は、お手せていただきます。	元に配布の	とおりでござい	ます。ご確認	願います。それでは進行さ
			性タについ	て」な議題と研	します この	ことについてお諮りを致し
		ます。本案件につきましては	.,.,.	/ - / - / - /		
		において指名することにご				7 2 京のがたにより、
		「異議なし」の声)	CHX V A C C V A	£ 6707 °		
		異議なしと認めさせていた	· だきます。 そ	とれでけ議事録	署名委員にけ	議席番号1番の十海政信
		委員、議席番号2番の下田領	_ , ,			
		す。なお、会議書記におきま				
3 議事	(議長)	本日は、報告事項はござい		_	, , ,	
議案第 21 号		議案第 21 号「農地法第 3	条の規定によ	こる許可申請に [、]	ついて」を議題	題と致します。
農地法第3条の規定による許		なお、本議案については、	農業委員会	等に関する法律	第 31 条第 1 4	頁の規定による議事参与の

可申請について		制限がございます。皆さんにお諮りをします。議席番号1番の土海政信委員より申請の番号2の
		案件を先に分割審議することにご異議はございませんか。
		(「異議なし」の声)
		異議なしと認め、番号2の案件を先に分割審議することとします。それでは、土海政信委員は
		退席してください。
		(1番 土海政信委員 退席)
		土海政信委員の退席を確認しましたので、審議を続けます。議案第21号「農地法第3条の規
		定による許可申請について」の内、分割審議の案件について、事務局より説明してください。
	事務局	会議書2頁です。
		議案第21号「農地法第3条の規定による許可申請について」を説明します。
		次のとおり、農地法第3条第1項及び同法施行令第1条の規定による許可の申請があったの
		で、これを許可することについて、本委員会の議決を求めるものです。
		分割審議案件、議席番号1番の土海政信委員関連です。
		(資料は2-2頁)
		番号2 譲渡人は、埴見●●。譲受人は、埴見──、土海政信。土地の所在は、大字埴見──。
		地目は、台帳、現況、利用状況いずれも田。面積は、570 m です。権利取得後の経営面積は 207
		アールで、贈与による所有権移転です。
		頁をめくっていただき、2-2 頁が航空写真の位置図です。左側に赤色で囲っている長方形の田
		です。分割審議案件の番号2の説明は以上であり、この申請につきましては、労働力の状況、通
		作距離などをみても問題がないことから、農地法第3条第2項各号には該当しないため、許可要
		件を満たしているものと考えます。説明は以上です。
	(議長)	説明が終わりました。これより、質疑を行います。皆さんのほうから質疑はございますか。
		質疑がないようですので、質疑は終結し、これより採決を行います。議案第 21 号「農地法第
		3条の規定による許可申請について」の内、分割審議案件、番号2の案件について、原案のとお
		り認めることに賛成の委員の挙手を求めます。
		《全員挙手》
		全員の方が挙手であります。よって、議案第21号「農地法第3条の規定による許可申請につ
		いて」の内、分割審議案件、番号2の案件については、原案のとおりに議決致します。

		それでは、退席している土海政信委員に入っていただきます。
		(1番 土海政信委員 着席)
		それでは、土海政信委員の着座を確認しましたので審議を続けます。
		議案第21号「農地法第3条の規定による許可申請について」の内、分割審議以外の案件につ
		いて、事務局より説明してください。
	事務局	再度、2頁をお願いします。分割審議以外の案件です。
		(資料は 2-1 頁)
		番号1 譲渡人は、石脇●●。譲受人は、原●●。土地の所在は、大字原――。地目は、台帳、
		現況、利用状況いずれも田。面積は、2,662 m°です。権利取得後の経営面積は 283 アールで、贈
		与による所有権移転です。
		頁をめくっていただき、2-1 頁が航空写真の位置図です。右下付近に赤色で囲っている長方形
		の田です。番号1の説明は以上であり、この申請につきましても、労働力の状況、通作距離など
		をみても問題がないことから、農地法第3条第2項各号には該当しないため、許可要件を満たし
		ているものと考えます。説明は以上です。
	(議長)	以上で、説明が終わりました。これより、質疑を行います。皆さんのほうから質疑はございま
		すか。
		質疑がないようですので、質疑は終結し、これより採決を行います。議案第 21 号「農地法第
		3条の規定による許可申請について」の内、分割審議以外の案件、番号1の案件について、原案
		のとおり認めることに賛成の委員の挙手を求めます。
		《全員挙手》
		全員の方が挙手であります。よって、議案第21号「農地法第3条の規定による許可申請につ
		いて」は、すべて原案のとおりに議決致します。
議案第 22 号	(議長)	次に、議案第22号「農地法第5条の規定による許可申請について」を議題と致します。事務
農地法第 5 条の規定による許		局より説明してください。
可申請について	事務局	会議書3頁です。
		議案第22号「農地法第5条の規定による許可申請について」を説明します。
		次のとおり、農地法第5条第1項の規定による許可の申請があったので、これを鳥取県知事に
		進達することについて、本委員会の意見を求めるものです。

(資料は、3-1頁~3-6頁)

番号1 土地の所在は、大字高辻──。地目は、畑。転用面積は、124 ㎡です。転用計画の用途は、住宅用地で、施設概要は、一般住宅。建築面積は、92.33 ㎡です。借受人は、中興寺●●。貸渡人は、高辻●●です。契約内容は、義理の親子間の使用貸借権の設定です。立地基準の判定に係る農地区分は、第3種農地。その区分決定根拠は、住宅等が連たんする区域内にある農地と判断できるためです。許可根拠規定は、第3種農地の転用は原則許可のため、記載はしていません。なお、この立地基準の判定については、事前に許可権者である県とも協議済です。都市計画区分は、非線引きの都市計画区域内で、公共投資はありません。

事業内容は、一般住宅 1 棟の建築。真砂土で高さ 20 cmの盛土造成を行います。隣地との境界線のうち、西側、南側、及び東側の一部に、高さ 45 cmのコンクリートブロック壁を設置し、土砂の流出を防ぐ対策をとるものです。農業振興地域整備計画において農用地からは除外済み。隣接する農地はありません。

頁をめくって頂き、3-1 頁が航空写真の位置図です。右側に赤色で囲っている土地が農地転用部分です。なお、事業計画としては、青色で囲っている土地、地番でいえば――番、この土地の地目は宅地ですが、この――番を含めた形で事業を行うものです。申請地は、集落内に位置し、住宅等が連たんする区域内にある農地であります。

次の 3-2 頁が現地の写真です。申請地を南東側から撮影しています。赤色で囲っている部分が 農地転用部分、青色で囲っている部分の地目は宅地です。この 2 筆に住宅を建築するものです。

次の 3-3 頁が公図です。縦に見ていただきますが、申請地の農地部分は黄色で、併せて事業を行う宅地部分は緑色で囲っています。また、申請地周辺の地目を示しています。水路を青色、道路を茶色で示しています。なお、隣接する農地はありません。この申請地の右側、方角で言えば、東側の地番、──番が義理の親である●●の居住地です。また、この──番について、申請地への進入路として、分筆の計画があることを確認しています。

次の3-4頁が土地利用計画図です。農地と宅地部分を含めた申請地を黄色線で囲っています。 雨水は青色線で、下水は赤色線で示しています。ともに義理の親である●●の宅地敷地内を経由 して、雨水は町道の道路側溝に、下水は町道に埋設の公共下水につなげる計画です。

次の 3-5 頁が建築する住宅の平面図です。その次の 3-6 頁が四方から見た立面図です。平屋造です。ご確認ください。

		以上、申請につきましては、周辺への土砂流出の恐れは無く、日照や通風に与える影響も無い
		ことから、周辺の営農条件に支障を及ぼすものではありません。よって、農地法第5条第2項各
		号には該当しないため、許可要件を満たしているものと考えられます。説明は以上です。
	(議長)	説明が終わりました。引き続き現地調査委員による現地確認の報告をしていただきます。議席
		番号2番の下田健一委員より報告をしてください。
	下田委員	この転用計画は、排水の処理もなされ、隣地との境界線にはコンクリートブロック壁を設置さ
		れ、雨水による土砂流出の恐れもありません。また、周辺の農地への支障もありません。よって、
		この転用計画を認めることについて、問題はないことを委員全員で確認しました。以上です。
	(議長)	以上で、案件の説明及び現地調査委員の報告を終わります。これより、質疑を行います。皆さ
		んのほうから質疑はございますか。
	山田委員	申請地への進入路が、義理の親の土地に設置されるのですが、どのように設置されるのですか。
	事務局	3-3 頁が公図ですが、――番の中央付近に東西に設置されます。3-4 頁の土地利用計画図で見
		れば、雨水線、下水線を示している部分に東西に設置されます。住宅建築部分の北側にカーポー
		トを設置されますが、そこに繋げる進入路を設置されます。
	山田委員	了解しました。
	(議長)	その他に質疑はございますか。
		質疑がないようですので、質疑は終結し、採決を行います。議案第22号「農地法第5条の規
		定による許可申請について」、原案のとおり認めることに賛成の委員の挙手を求めます。
		《全員举手》
		全員の方が挙手であります。よって、議案第22号「農地法第5条の規定による許可申請につ
		いて」は、原案のとおりに意見決定を致します。
議案 23 号	(議長)	次に、議案第 23 号「非農地の現況証明について」を議題とします。事務局より説明してくだ
非農地の現況証明について		さい。
	事務局	会議書4頁です。
		議案第23号「非農地の現況証明について」を説明します。
		次のとおり、農地法第2条第1項に規定する農地以外のものである証明願いの提出があったの
		で、同法の適用を受けない土地であることの証明を交付することについて、本委員会の議決を求
		めるものです。

(資料は4-1頁~4-6頁)

番号1 申請人は、神奈川県横浜市の●●。土地の所在は、大字園──。地目は台帳畑、現況山林。面積は、1,141 ㎡です。昭和62年以降は、耕作や管理ができなくなり、山林化したものです。

もう一筆、大字園――。地目は台帳 畑、現況 宅地。面積は、209 ㎡です。平成 5 年以降は耕作しておらず、現在は宅地の状態となっているものです。

頁をめくっていただき、4-1 頁が――番の航空写真の位置図です。右上付近に赤色で示している箇所です。次の 4-2 頁が現地の写真です。南西側から、遠くから見た写真で、赤色で示している付近になります。次の 4-3 頁が公図です。縦に見ていただきますが、申請地部分を黄色で示し、周辺の台帳地目を記載していますのでご確認ください。

頁をめくっていただき、4-4 頁が――番の航空写真の位置図です。中央に赤色で示している箇所であり、集落内に位置します。次の 4-5 頁が現地の写真です。左の写真は西側から、右の写真は東側から撮影しています。次の 4-6 頁が公図です。縦に見ていただきますが、申請地部分を黄色で示し、周辺の台帳地目を記載していますのでご確認ください。

再度、4 頁をお願いします。記載はありませんが補足として、――番の課税上の現況地目は山林、――番の課税上の現況地目は宅地になっています。また、昨年実施した農地パトロールの結果として、2 筆とも再生利用が困難な農地であると判断されていますことを申し添えます。説明は以上です。

説明が終わりました。本案件は、1 人の申請人から2 か所の申請が出ています。別の案件として、各々に処理をしていきます。——番の案件を1-1、——番の案件を1-2 と区別したいと思います。それでは、1-1、1-2 の案件を一括して、現地調査委員による現地確認の報告をしていただきます。議席番号 3 番の尾川寛信委員より報告をしてください。

まずは、1-1の――番について、申請地は、長らく手が掛けられておらず、山林化しており、 現地にも近づくことができなく、容易には農地に復元することは困難な状況であり、非農地とし て認めることについて問題はないことを委員全員で確認しました。

次に、1-2 の――番について、申請地は、集落内に位置し、現在は宅地の状態となっており、 農地としての機能は果たしておらず、農地に復元することは困難な状況であり、非農地として認 めることについて問題はないことを委員全員で確認しました。以上です。

(議長)

尾川委員

議案第24号 (議長) 農用地利用集積等促進計画の 策定について 事務局

(議長)

以上で、事務局の説明及び現地調査委員の報告を終わります。これより一括して質疑を行いま す。皆さんのほうから質疑はございますか。

質疑がないようですので、質疑は終結し、採決を行います。議案第23号「非農地の現況証明 について」の内、1-1の案件について、原案のとおり認めることに賛成の委員の挙手を求めます。 《全員举手》

全員の方が挙手であります。次に、1-2 の案件について、原案のとおり認めることに替成の委 員の挙手を求めます。

《全員挙手》

全員の方が挙手であります。よって、議案第23号「非農地の現況証明について」は、原案の とおりに議決致します。

次に、議案第24号「農用地利用集積等促進計画の策定について」を議題とします。事務局よ り説明してください。

会議書5頁です。

議案第24号「農用地利用集積等促進計画の策定について」を説明します。

次のとおり、農用地利用集積等促進計画が策定されたので、農地中間管理事業の推進に関する 法律第19条第3項の規定により、本委員会の意見を求めるものです。

(資料は5-1頁、5-2頁)

まずは、5-1 頁の利用権設定関係です。

農地番号 1、地権者は、はわい長瀬●●。土地は、下浅津地内の記載の 1 筆の田で、利用目的 は水稲栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利、ともに5年で、 無償です。耕作者は、上浅津●●で、新規契約です。

農地番号 2、地権者は、埼玉県の●●。土地は、長和田地内の記載の 1 筆の田で、利用目的は 水稲栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利、ともに5年で、無 償です。耕作者は、長和田●●で、新規契約です。

農地番号3、地権者は、方面●●。土地は、方面地内の記載の1筆の田で、利用目的は水稲栽 培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利、ともに5年2ヶ月で、無 償です。耕作者は、方面●●で、新規契約です。

農地番号4から12、地権者は、記載の7名です。土地は、長江地内の記載の9筆の田で、利

用目的は水稲栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利は、農地番号 4 から 11 が 5 年、農地番号 12 が 3 年で、いずれも無償です。耕作者は、宮内●●で、いずれも新規契約です。

農地番号 13、地権者は、はわい長瀬●●。土地は、光吉地内の記載の 1 筆の田で、利用目的は水稲栽培です。地権者が機構に設定する権利、機構が耕作者に設定する権利、ともに 5 年で、無償です。耕作者は、光吉●●で、新規契約です。

なお、地域計画の地区は、記載のとおりです。地域計画は、町内で6地区が設定されていますが、目標地図に示している農地は、農振農用地区域内の農地としています。よって、該当地が農振農用地区域外の農地の場合は、地域計画の地区欄は空欄としています。

次に、5-2 頁の売買関係です。

農地番号1から3、地権者は、鳥取県農業農村担い手育成機構。土地は、大字野方――番の畑、――番と――番の原野で、利用目的は梨栽培です。ちなみに地目が原野については、畑に隣接する法面部分になります。面積は3筆合計4,497㎡で、農振農用地区域内の農地であり、青と記載しています。

機構から耕作者へ所有権を移転する時期は、令和7年10月24日の予定で、対価は3筆合計 ——万円です。買受する者は、久留●●で、認定農業者です。地域計画の地区については、東郷 地域の舎人です。

なお、記載はありませんが補足として、この案件については、元の地権者から機構経由で \blacksquare が取得する目的で、令和3年度に元の地権者から機構に所有権移転がなされた土地、3筆です。ただし、対価が——万円と高額であるため、 \blacksquare の支払いは、年間——万円の——回払いを設定し、これまで——万円を支払い、この度、最後の——万円の支払いが終えるため、機構から \blacksquare に所有権移転をするものです。なお、この3筆については、機構が所有権を取得後、令和3年度に機構と \blacksquare の間で利用権を設定し、現在、 \blacksquare が耕作中である土地であります。説明は以上です。

(議長) 山田委員 事務局 山田委員 説明が終わりました。これより質疑を行います。皆さんのほうから質疑はございますか。 この面積で、――万円は高いですね。

売買金額は、元の地権者と買受者●●との間での合意によるものです。ご理解ください。 わかりました。

(議長) その他に皆さんから質疑はございますか。 それでは、質疑は無と認めます。これより採決を行います。議案第24号「農用地利用集積等 促進計画の策定について」、原案のとおり認めることに替成の委員は挙手をお願いします。 《全員举手》 全員の方が挙手であります。よって、議案第24号「農用地利用集積等促進計画の策定につい て」は、原案のとおり意見決定を致します。 議案第25号 (議長) 次に、議案第25号「非農地の決定について」を議題とします。事務局より説明してください。 会議書6頁です。議案第25号「非農地の決定について」を説明します。 非農地の決定について 事務局 次のとおり、農地法第30条に規定する農地利用状況調査の結果に基づく別紙一覧表記載の土 地が、農地法第2条第1項の適用を受けない土地であることの可否について、本委員会の議決を 求めるものです。 (資料は6-1頁~6-9頁) 6-1 頁、6-2 頁の非農地通知一覧表をご覧ください。 この度は、大字宇谷地内の記載の36筆について、非農地決定の判断をいただきたく提案する ものです。 表の左側から、土地の所在、地目、面積、所有者については、記載のとおりです。利用状況調 香は、令和6年7月、一部令和6年10月に実施され、その際に「再生利用が困難な農地」と判 断されているものです。非農地通知書発行年月日は、議決を得た後に、所有者に発行しますので、 本日時点では空欄としています。備考欄には、非農地とした際の変更後の田畑以外の地目を記載 しています。なお、記載の地目については、この後写真も見ていただきますが、固定資産税担当 が判断している現況地目も参考に記載しています。 具体的に、位置図と現況写真により説明します。 6-3 頁、番号 1 から番号 11 の位置図です。目印等がなく場所がわかりにくいのですが、集落 から南方、山側にずっと進んだところになります。その現況写真が、6-4 頁になります。左側の 番号1.2.11は、畑から原野、または山林に地目変更。右側の番号3から10は、畑から原野、ま たは山林に地目変更するものです。

6-5 頁、番号 12 から番号 25 の位置図です。先ほどの 6-3 頁の位置図の北側に位置します。この写真の左側には、ハウス団地が見えています。その現況写真が、6-6 頁になります。番号 12 か

		ら 25 は、畑から原野、または山林に地目変更するものです。
		6-7 頁、番号 26 から番号 36 の位置図です。先ほどの 6-5 頁の位置図で見えていたハウス団地
		の西側に位置します。その現況写真が、6-8 頁と 6-9 頁になります。6-8 頁、左側の番号 26 は、
		畑から山林に地目変更。右側の番号 27,35,36 は、畑から原野、または山林に地目変更するもの
		です。6-9 頁、番号 28 から 34 は、畑から原野、または山林に地目変更するものです。
		以上、36筆の提案について、本委員会で議決を得た後、所有者に通知発行、3ヶ月の不服申し
		出期間を経た後、不服申し出者を除き、町長の職権で登記簿地目の変更登記を行うことになりま
		す。説明は以上です。
	(議長)	説明が終わりました。これより質疑を行います。皆さんのほうから質疑はございますか。
		それでは、質疑は無と認めます。これより採決を行います。
		議案第25号「非農地の決定について」、原案のとおり、これを可と認めることに賛成の委員は
		挙手をお願いします。
		《全員举手》
		全員の方が挙手であります。よって、議案第 25 号「非農地の決定について」は、原案のとお
		り議決致します。以上で議事を終わります。
4 その他	(議長)	それでは、日程 4.その他に移ります。
		(1) 建議書の内容決定について、説明してください。
	事務局	○建議書の内容決定について
		建議書(案)は、事前送付しています。本日、建議書の内容について最終確認し決定します。
		⇒協議の結果、修正無で決定
		町長提出日程は、10月 20日(月)13:30~14:30 とし、役員6名が対応します。
		※役員6名は、13:15 に農業委員会事務局に集合してください。
	(議長)	(2)11月定例総会の日程について、説明してください。
	事務局	○11月定例総会の日程について
		11月10日(月)午後3時~
		現地調査委員:長谷川 会長、土海 会長職務代理
		④ 山田隆雄 委員、⑥ 山下和子 委員、⑮ 松本勝男 推進委員
	(議長)	(3)11月農家相談会の日程について、説明してください。

事務局	○11月農家相談会の日程について
	11月20日(木)午前9時~正午
	担当:④ 山田隆雄 委員、⑦ 渡邉由佳 委員、⑯ 山本正義 推進委員
(議長)	(4) その他について、説明してください。
事務局	○その他として、3点あります。
	①利用権設定の更新手続き案内について【資料1により説明】
	対象期間:令和7年12月末日から令和8年3月末日の間に契約期間が満了
	対 象 者:地権者側と現耕作者に通知発送
	※「利用権設定等計画書の原本」及び「利用権設定等計画書の記載例」は現耕作者に送付
	通知発送:10月15日(水) 手続期間:11月14日(金)まで
	そ の 他:地権者側のみにチラシ「相続登記はお済みですか?」を同封
	※全委員・推進委員の皆さまへ
	地権者側または現耕作者からの相談への対応をお願いします。
	②農地パトロールについて
	全ての班が 10月 31日 (金) までに終了してください。
	以降、事務局において次の作業等を実施します。
	○11月:利用状況調査(農地パトロール)結果を農地台帳システム一括取込
	○12月:利用意向調査
	対象者/今年新たに緑区分、黄区分に判断した農地の所有者
	(緑区分:荒廃度が低度、黄区分:荒廃度が中度)
	○令和8年2月:定例総会時
	◇利用状況調査(農地パトロール)結果の報告
	◇利用意向調査結果のうち「貸付希望」農地への対応をお願いします。
	③農業委員会特別研修会の日程について【資料2により説明】
	12月3日(水)13:30~16:00 エースパック未来中心・大ホール
	〔全委員・推進委員対象〕
	・出欠の確認は、11月10日(月)定例総会時 ・出席者は現地集合とします。
	事務局からは以上です。

	(議長)	その他に皆さんから何かお伝えされたいことはございますか。
		無いようですので以上で終わります。
5 閉会	(議長)	皆さん、ご起立をお願いします。以上を持ちまして、令和7年度第7回湯梨浜町農業委員会定例総会を閉会と致します。お疲れ様でございました。
		(閉会 午後4時13分)